

降圧剤の配合剤含む9成分19品目の薬価収載を了承

中医協・総会（会長：遠藤久夫・学習院大学経済学部教授）は6月10日、9成分19品目（内用薬：6成分12品目、注射薬：2成分6品目、外用薬：1成分1品目）の薬価収載を了承した。6月19日収載予定。

新収載医薬品は最終ページに記載

100億円超の大型化が予想されるのは、日本ベーリンガーインゲルハイムの「ミコンビ配合錠 AP、同 BP」<sub>Ⓜ</sub>、第一三共の「クラビット



遠藤会長は降圧剤を上市するメリットが分かる資料の提示を求めた

錠、同細粒 10%」<sub>Ⓜ</sub>、ヤンセン ファーマの「リスパダール コンスタ筋注用」<sub>Ⓜ</sub>、サノフィ・アベンティスの「アピドラ注カート、同ソロスター、同 100 単位/mL」<sub>Ⓜ</sub>、グラクソ・スミスクラインの「アラミスト点鼻液 27.5 μg56 噴霧用」<sub>Ⓜ</sub>。20%の加算が付いたノバルティス ファーマの「クロザリル錠」など6成分に有用性加算 が付き、「ストラテラカプセル」と「オラペナム小児用細粒 10%」に小児加算が付いた。

第一三共の「クラビット錠、同細粒 10%」の 500mg 投与による耐性菌の発現抑制は、今回薬価収載される 250mg 錠、500mg 錠、10%細粒を用いた場合のみが保険適用となり、既存品を 500mg 投与した場合は保険対象にならない。

委員からは、ARB と利尿剤との配合剤である「ミコンビ配合錠 AP、同 BP」について、「エカード配合錠 LD、同 HD」と「コディオ配合錠 MD、同 EX」の承認を了承したときと同様、患者に対する利便性はあるものの、製品化する意義を疑問視する意見や後発医薬品使用の阻害要因になるなどの指摘が上がり、配合剤の意義等について薬価専門部会でも議論することになった。

中医協「第135回診療報酬基本問題小委員会」

次期改定へ向けて、個別具体的な議論と幅広い議論を同時進行で展開

総会に引き続き行われた基本問題小委員会（委員長：遠藤久夫・学習院大学経済学部教授）では、入院時医学管理加算、医師事務作業補助体制加算、ハイリスク分娩管理加算（以下、3加算）を中心に入院料等に関する議論を行った。

事務局が地方厚生局に問い合わせた直近の3加算の届出施設数は以下のとおり。

	届出医療機関数			
	2006/7/1 現在	2007/7/1 現在	2008/7/1 現在	2009/6/1 現在
入院時医学管理加算	192	206	88	170 超
医師事務作業補助体制加算	-	-	730	1,000 超
ハイリスク分娩管理加算	702	708	623	630 超

中医協資料をもとに作成

2008 年度改定で全面的に算定要件が見直された入院時医学管理加算については、検証部会が実施した検証結果で、施設基準のハードルが高く届出できない等の意見が多数あったことから、施設基準の適切性の検討や基準を緩和する必要性が指摘されていたが、遠藤委員長は「1 年で届出数が倍増しているとなると、“要件が厳しすぎた”という議論は変わってくるかもしれない」と延べ、事務局に対して直近データの提示を求めた。また、対馬忠明委員（健康保険組合連合会専務理事）も「88 施設だと思っていたが 170 超に増え、状況が変わってきた。医療提供体制全体に関わってくる」とし、要件を緩めてでも推進していくことの是非を議論するために、届出施設と地域医療支援病院や二次救急医療機関などとの関連を分析するよう要望した。

委員からは、具体的な項目の検討を進めると同時に、広い視野で議論する必要性を指摘する意見が相次いだ。遠藤委員長も、診療報酬だけでなく政府の医療政策など全体的な流れを踏まえ、中医協として幅広い議論を行う考えを示し、改定の基本方針を決める社保審の医療部会や医療保険部会をできるだけ早期に開催して審議を開始するよう事務局に要望した。さらに、「プロセスから言えば両部会での方針決定が先だが、中医協での議論が両部会と大きく外れることはない」とし、中医協として、今後の医療に何が重要なのかという議論を開始すべきとした。

#### **慢性期分科会が検討内容の拡大を要望**

また、同日は、5 月 27 日に開催された診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会（分科会長：池上直己・慶應義塾大学医学部教授）で、分科会の検討内容の拡大を求める意見が上がったことを事務局が報告した。

医療療養病床における患者区分の検討が同分科会の役割だが、前回の開催から 2 年近くが経過し、その間に療養病床の再編問題や介護報酬改定など様々な状況の変化があったことから、委員の多くが「一般病床や介護施設等との関係など、中長期的な課題についても分科会で幅広く議論すべき」と指摘。分科会の意向を整理し、次回以降、池上分科会長が基本小委で報告する。

新医薬品一覧表（2009年6月19日収載予定）

銘柄名	規格単位	会社名	成分名	算定薬価		薬効分類	備考
クロザリル錠25mg クロザリル錠100mg	25mg1錠 100mg1錠	ノバルティス ファーマ	クロザピン	85.30円 300.60円	内117	精神神経用剤（治療抵抗性統合失調 症用薬）	ピーク時：13,834人 50.1億円
ストラテラカプセル5mg ストラテラカプセル10mg ストラテラカプセル25mg	5mg1カプセル 10mg1カプセル 25mg1カプセル	日本イーライリ リー	アトモキセチン塩酸塩	264.90円 315.70円 398.10円	内117	精神神経用剤（小児期における注意 欠陥/多動性障害用薬）	ピーク時：6.1万人 89.1億円
ミコンビ配合錠AP ミコンビ配合錠BP	1錠 1錠	日本ベーリンガー インゲルハイム	テルミサルタン・ヒド ロクロロチアジド	157.30円 234.40円	内214	血圧降下剤（高血圧症用薬）	ピーク時：83.7万人 400.8億円
タイケルブ錠250mg	250mg1錠	グラクソ・スミス クライン	ラパチニプトシル酸塩 水和物	1,620.70円	内429	その他の腫瘍用薬（HER2過剰発現が 確認された手術不能又は再発乳癌用 薬）	ピーク時：2,800人 32億円
オラベネム小児用細粒10%	100mg1g	明治製菓	テビベネム ビボキシ ル	580.90円	内613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用 するもの（肺炎、中耳炎、副鼻腔炎 用薬）	ピーク時：30.8万人 13.5億円
クラビット錠250mg  クラビット錠500mg  クラビット細粒10%	250mg1錠（レボフ ロキサシンとし て） 500mg1錠（レボフ ロキサシンとし て） 100mg1g（レボフ ロキサシンとし て）	第一三共	レボフロキサシン水和 物	304.50円 547.50円 138.20円	内624	合成抗菌剤（咽頭・咽喉炎、急性気 管支炎、肺炎、膀胱炎等用薬）	ピーク時：1,711万人 485億円
リスバダール コンスタ筋注用25mg リスバダール コンスタ筋注用37.5mg リスバダール コンスタ筋注用50mg	25mg1キット（懸 濁用液付） 37.5mg1キット （懸濁用液付） 50mg1キット（懸 濁用液付）	ヤンセン ファー マ	リスベリドン	23,520円 30,997円 37,703円	注117	精神神経用剤（統合失調症用薬）	ピーク時：39.7千人 234.2億円
アビドラ注カート アビドラ注シロスター アビドラ注100単位/mL	300単位1筒 300単位1キット 100単位1mLバイア ル	サノフィ・アベン ティス	インスリン グルリジ ン（遺伝子組換え）	1,596円 2,237円 380円	注249	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤 を含む）（インスリン療法が適応と なる糖尿病用薬）	ピーク時：16.1万人 107.2億円
アラミスト点鼻液27.5µg56噴霧用	3mg6g1キット	グラクソ・スミス クライン	フルチカゾンフラン カルボン酸エステル	2,032.70円	外132	耳鼻科用剤（アレルギー性鼻炎用 薬）	ピーク時：178.6万人 123.5億円